

## ルクセンブルク経済・金融情勢（2013年10月後半）

### 1. 経済

- 会計事務所であるPwCルクセンブルク社、2013年（6月末締め）の収益は288百万ユーロで、前年比11%増加。特にコンサルティング及び税務部門の活動が好調で、前年比15%増加。（16日付ヴォルト紙電子版）
- 会計事務所であるEY（旧Ernst&Young）ルクセンブルク社、2013年（6月末締め）の収益は147.3百万ユーロで、前年比12%増加。最も成長したのは税務部門で、前年比16%増加。（17日付ヴォルト紙電子版）
- ネットワークソリューションの開発・販売を行う日本企業であるSkeed社（本社東京）、11日に初の海外拠点をルクセンブルクに開設。（17日付Skeed社プレスリリース）
- Enovosルクセンブルク社、白及び蘭での活動拡大に向け、NPG Energy社（本社ベルギー）に対する持ち株比率を50.98%に増加した旨21日に発表。（21日付ヴォルト紙電子版）
- 9月の失業率は7.0%（前月は6.9%、前年同月は6.2%）。（22日付統計局プレスリリース）
- 衛星関連企業の当国LuxSpace社、欧州宇宙機関（ESA）の研究プロジェクトへの参画が決定した旨17日に発表。（22日付ル・コティディアン紙）
- 世界銀行による2014年ビジネス環境ランキングにおいて、当国は189カ国・地域中60位（前回は56位）。上位5カ国・地域は前回と変化はなく、上からシンガポール、香港、ニュージーランド、米及びデンマーク。（29日付ヴォルト紙電子版）
- 2013年第2四半期のGDP成長率は前期比+1.6%、年率換算では+2.4%。2013年第1四半期の低調な経済活動のために、同期比で高い成長率となった。（29日付統計局発表）
- 10月の消費者信頼感指数は▲1（前月は▲2）で、3ヶ月連続で改善。（30日付中央銀行プレスリリース）

### 2. 金融

- 当国資金情報局（Cellule de Renseignement Financier）、年次報告書を発表。2012年は11,423件（前年比32%増加）のマネーロンダリング疑義のある取引が同局による調査対象となった。うち342件が追跡調査、169件が起訴となり、87件が当国刑事裁判所によりマネーロンダリングに関わる取引であると判決。（17日付ヴォルト紙電子版）
- 暫定値に基づく1月から9月末までの当国金融機関の引当金計上前利益は、

42億7300万ユーロで、前年同期比13%増加。利鞘が減少した一方、その他利益、手数料、銀行商品に係る利益等は増加。（22日付金融監督委員会コミュニケ）

●Banque International a Luxembourg（BIL）、プライベートバンキング部門の支店を22日にブリュッセルに開設。（23日付ル・コティディアン紙）

●2013年9月末時点の当国所在の銀行は145行（6月時点より3行増加）、銀行セクターにおける就業者数は26,185名で、6月時点より191名減少（暫定値）。（23日付中央銀行プレスリリース）

●2013年11月から約1年間かけて実施される欧州中央銀行（ECB）による包括的評価において、当国では国立貯蓄銀行（BCEE）、Clearstream Banking、Precision Capital（BIL及びKBLヨーロッパ・プライベートバンカーズを所有）、RBC Investor Services Bank、State Street Bank Luxembourg、及びUBS Luxembourgの計6行が対象となる旨がECBより発表。（23日付ヴォルト紙電子版）

### 3. 政府

●フリーデン財務相、中国建設銀行の当国への欧州拠点設立式に際し、王洪章（WANG Hongzhang）同銀行頭取と会談。また同日、同銀行頭取はルクセンブルク中央銀行ライネシュ総裁とも会談。（28日付財務省コミュニケ）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。